185

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

事務事業名金婚記念事業作成日基本目標
政策
施策健康でいきいきと暮らせるまち
高齢者が暮らしやすいまちづくり
高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進課長名
担当者2

作成日	平成 28 年	9 月	30 日
部局名	福祉保健部		
課名	長寿介護課		
課長名	山下 志朗	内線	89-100
担当者名	林 哲也	内線	89-101

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個 別 計 画		
重点事業		

会計	一般会計	
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	老人福祉費
事業コード	070100	記念行事事業

【PLAN(計画)】

対 象 (者) 誰(何)に対して事業を 行うか	市内に住所を有しており、結婚50周年を迎える夫婦
意 図 対象をどのような状態 にしたいか	金婚記念祝賀式を実施し、互いに協力し合いながら日々歩んでこられたことを祝福すると同時に、改めて夫婦の絆を確認し、今後も夫婦円満に幸せな生活を送っていただくことを目的とする。
事 業 概 要 意図を達成するために 実施することは何か	夫婦生活の節目である50周年の良い記念・思い出となるよう、金婚記念祝賀式を実施する。
事業期間	昭和 51 年度 ~ 平成 年度 実施方法 直営
根拠法令、要綱等	大村市金婚記念支給要綱
国・県補助事業に 係る本市単独施策	無

【DO(実施)】

	八夫 旨標		等)	単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
					1	1	1	1	
	1	金婚記念祝賀式	実績値	口	1	1	1		
活動指標			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
指			計画値						
標	2		実績値						
	0		達成度	達成度 %					
		参加夫婦組数 計画値 組	組	55	54	54	54		
	1	参加	実績値		45	54	47		
成果指標			達成度	%	81.8%	100.0%	87.0%		
指			計画値						
標	2		実績値						
	ı		達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全	体	計	画
①事業費(千円)	199	229	257	275	237	237	237				0
国庫支出金											
県 支 出 金											
地 方 債											
そ の 他											
一 般 財 源	199	229	257	275	237	237	237				
② 人 件 費(千円)	238	1,209	1,128	364	事業内容	事業内容	事業内容		備	考	
職員人数(人)	0.03	0.16	0.16	0.05							
時間外勤務(時間)					金婚記念祝	金婚記念祝	金婚記念祝				
嘱 託 等 人 数(人)					賀式の実施	賀式の実施	賀式の実施				
フルコスト(①+②千円)	437	1,438	1,385	639							

[※]財源内訳中の「その他」には、保険料·寄付金·基金·利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】 シーハットおおむらさくらホールにおいて開催し、47組の夫婦の参加があった。 の改善・改革の進捗等) 金婚記念祝賀式の対象者は高齢であるため、健康状態によっては式典に参加できない夫婦もおられ 事業が抱える問題・課題等 ることから、祝賀式の在り方について検討が必要と考えている。 やや低い 【必要性】 高い やや高い 低い 該当なし 夫婦生活の節目である50周年を顕彰することは、夫婦の絆を再確認すると同時に、互いを尊重しあうきっかけにもつながるた め、必要性は高い。 妥 当 【市の関与】 やや高い やや低い 性 高い 低い 該当なし 長年夫婦円満な家庭生活を築き、社会発展のため貢献された労をねぎらうとともに、市民の平和で健全な生活を願うことを趣 旨とする事業であることから市の関与は必要である。 やや高い やや低い 【事業成果】 高い 低い 該当なし 前年度より参加夫婦が少なくなり、目標値の9割弱の実績となった。 効 性 【施策貢献度】 高い やや高い やや低い 低い 該当なし 結婚から50年を迎えられるご夫婦が、今後も助け合い、協力し合うべき相手であることを再確認するきっかけとなる記念事業の 実施は、高齢者のいきがいづくりにつながるものである。 【コスト】 削減の余地なし 削減の余地あり 該当なし 式典の開催に係る経費は節減に努めており、削減の余地はない。 効 率 【負担割合】 該当なし 性 見直しの余地なし 見直しの余地あり ※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善·改革】	今後の方向性 現状維持
内容 今後の方向性のもとで、どのような 取組をするか(課題や問題点等に 対する取組など)	結婚から50年を迎えられるご夫婦が、今後も助け合い、協力し合うべき相手であることを再確認する きっかけとなる記念事業の実施は、高齢者のいきがいづくりにつながるものであり、今後も事業を継続し ていきたい。
効果 事業の改善・改革によって期待され る効果は何か	記念事業の実施は、高齢者のいきがいづくりにつながるものである。

1	今後	の方向性	担当者意見のとおり	2	文	対象外	今後の方向性
次	終	期設定		次	終	期設定	
公評 価	意見等			公評 価	内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。